

＜タンチョウを観察される皆様へ＞

～ 舞鶴遊水地でのルールとお願い ～

舞鶴遊水地は、タンチョウをはじめとする野鳥たちの貴重な生息地です。

タンチョウは非常に警戒心が強く、特に子育て中は、人の接近や大きな音などによってストレスを受けることがあります。タンチョウが安心して過ごせる環境を守るため、適切な距離を保ち、静かに見守っていただきますようお願いいたします。

＜ 観察時の注意事項 ＞

- 舞鶴遊水地では、一部区域への車両・徒歩による立ち入りが制限されています。また、タンチョウ保護の観点から、ドローン等の無人航空機を使用する際は、関係機関への事前確認及び十分な配慮をお願いしております。
- タンチョウを観察する際は、近づきすぎず、車内や建物の中から短時間で観察してください。
- エサやりは絶対に行わないでください。
- ゴミは必ずお持ち帰りください。ゴミはカラスなどの外敵を呼び寄せる原因となります。
- 農地を含む私有地には立ち入らないでください。

＜ 野鳥観察ガイドを御活用ください＞

タンチョウなどの野鳥を観察される際は、観察ルールをまとめた「舞鶴遊水地 野鳥観察ガイド」も御確認ください。

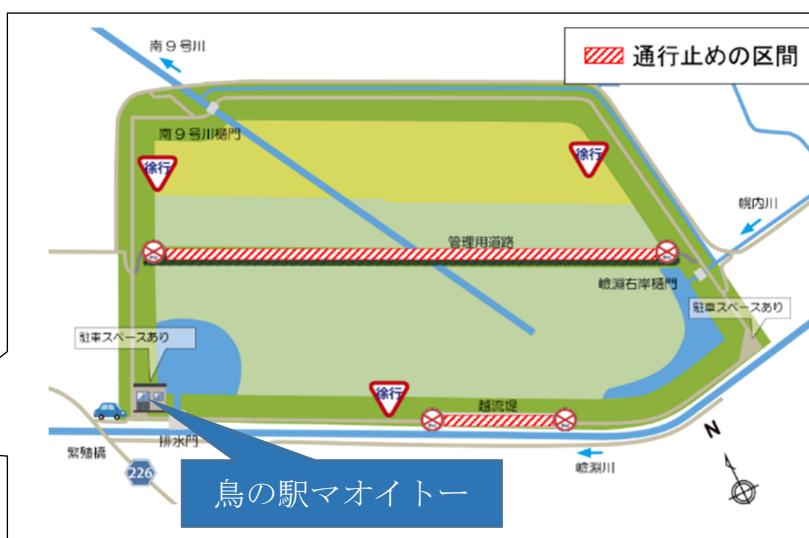
https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh40000001qwn-att/e1lg9o000000j35n.pdf

タンチョウが人を警戒するようになると、舞鶴遊水地周辺にタンチョウが訪れなくなるおそれがあります。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

＜立ち入り制限の一部継続について＞

ヒナの成長を受けて立ち入り制限の範囲を縮小します。

ただし、タンチョウへの配慮や施設管理上の観点から、越流堤及び遊水地中央の管理用道路については、引き続き通行止めとします。なお、専門家の指導のもと、タンチョウに十分配慮したうえで、調査や維持管理のために職員等が立ち入る場合があります。



※堤防上通行時は徐行してください。